

## 平成23年度 全建技術発表会受章（最優秀賞）おめでとうございます。

- 日 時 : 平成23年11月24日（木）
- 場 所 : 東京都 経団連会館 4階 ダイアモンドルーム
- タイトル : 「法面親綱の安全性と施工性の向上」
- 会社名 : 林建設株式会社（鹿児島）
- 発表者 : 取締役副社長 小 野 剛

全国建設業協会（浅沼健一会長）は、24日に開催した技術発表会で、林建設株式会社（鹿児島県）の「のり面親綱の安全性と施工性の向上～スイングブラケット工法 ロープマスター～」を発表12事例のトップの最優秀賞に選ばれた。のり面の吹き付け工事を行う際に用いる親綱設置装置に、回転ジョイントなどを設けることで、一度に施工できる範囲を拡大するアイデア。

30年以上の経験を持つベテラン作業員が考案した。商標登録の手続き中で、特許取得も目指している。このほか、優秀賞3件と特別賞1件が選ばれた。林建設が考案したのは「スイングブラケット工法・ロープマスター」。従来工法では、施工範囲は約30度だったが、親綱設置装置の根元に60度まで振ることができる回転ジョイントを設置。親綱外れ防止クリップや転倒防止チェーンと併せて利用することで、安全性と効率性を両立させた。

鹿児島県発注ののり面工事に導入したところ、工期短縮が図れ、工事評価点の高得点にもつながったという。同社は、特許取得や国土交通省の新技术活用システム（NETIS）への登録を社員に積極的に推奨している。新工法の名称を社員から公募することで、モチベーションも図っている。親綱外れ防止クリップは、工法を考案した島田勇信さんの名前から「結親（ゆうしん）」と命名。回転ジョイントは、安全（A）で広範囲（K）施工可能なぶら下がり機（B）と施工範囲の60度を組み合わせ「AKB60」と名付けるなど楽しみながら取り組みを進めている。

